

平成 25 年 12 月 11 日

関係各位殿

公益財団法人

宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

理 事 長 菊 地 永 祐

(公 印 省 略)

第 8 回伊豆沼・内沼研究集会の開催について (通知)

日本の湿地環境は、1960 年代の高度経済成長期以降、著しく減少、劣化しています。このような中、宮城県北部にある伊豆沼・内沼は豊かな生物多様性を維持し、国内有数のガン・カモ類の飛来地として知られており、国の天然記念物、国指定鳥獣保護区の指定に続き、1985 年には国内 2 番目のラムサール条約登録地の指定を受け、地域住民、関係者等が一体となって保全活動を行ってきた長い歴史をもつ湿地のひとつとなっております。

当財団の活動理念は、こうした背景を受け、地域づくりと調和のとれた新しい形の伊豆沼・内沼サンクチュアリの創造に向けて、自然環境の保全や自然保護思想の普及、そして自然と人間のふれあいの場づくりなど、より積極的な活動を行なって地域振興に寄与するとともに、行政と地域が一体となった伊豆沼・内沼自然環境の保全を推進することにあります。

その理念にもとづき、伊豆沼・内沼の保全対策の実効性を高めるためには、保全対策の基礎となる、最新の調査・研究データを蓄積することが最も重要だと考えています。伊豆沼・内沼研究集会は、伊豆沼・内沼を中心とした宮城県の湿地に関する調査研究の成果を発表し、沼への知見を深め、合わせて伊豆沼・内沼にかかわる方々の情報交換の場とすることを目的としており、平成 19 年 2 月の第 1 回研究集会から昨年度まで、毎年 10 を超す研究機関・団体が研究発表されております。今年度も下記により「伊豆沼・内沼研究集会」を開催しますので、湿地を中心に研究をされている方々の発表・参加について、よろしくお願い申し上げます。

なお、当日は研究集会終了後、情報交換の場として懇親会を予定しておりますので、懇親会の参加についても、併せてお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 平成 26 年 2 月 8 日 (土) 13 時 30 分～17 時 00 分
- 2 場 所 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター研修室
- 3 主 催 (公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
- 4 発表様式 ミニ学会形式で、発表 12 分、質疑応答 3 分、合計 10 題程度を予定。
- 5 申込み期限 平成 26 年 1 月 31 日 (金)
- 6 要旨〆切り 平成 26 年 1 月 31 日 (金)
- 7 そ の 他 懇親会 会費 5,000 円程度

第8回 伊豆沼・内沼研究集会

申込書

●講演者（参加者）情報	
氏名	
ふりがな	
所属	
連絡先	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅
郵便番号	
住所	
電話番号	
Fax 番号	
E-mail	※今後のご連絡はすべてこのメールアドレスに配信致します。
●ご講演内容 ※ご演者様のみご記入願います。	
講演題目 (50字以内)	
発表者全員の 氏名 (所属略記)	※ご演者様氏名の後ろに○印を付けて下さい。
●懇親会への参加 (時間：研究集会終了後、懇親会費：5,000円程度)	
御出欠	<input type="checkbox"/> 御出席 <input type="checkbox"/> 御欠席

第8回伊豆沼・内沼研究集会・要旨の書き方

(1) 原稿用紙はA4判とし、上下左右ともに25mmのマージンをとって下さい。

(2) 書式

① 文字

- ・ 文字は10.5ポイントとします。
- ・ 横書きを標準として印字してください。

② 題目・所属・氏名

- ・ 上下左右のマージンいっぱいに、1行40字、1ページ40行、横書きを標準として印字してください。
- ・ 原稿の題目は1ページ目第1行に中央に寄せて書く。
- ・ 氏名・所属は第3行目右側に寄せて書く。
- ・ 本文は第5行目から書き始める。
- ・ 2ページ目は第1行から書いてください。
- ・ ページ数は偶数ページにまとめてください。

(3) 講演原稿提出期限

平成26年1月31日(金)まで